

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介するコーナーがステイ・スマイル(笑顔のままで)です。

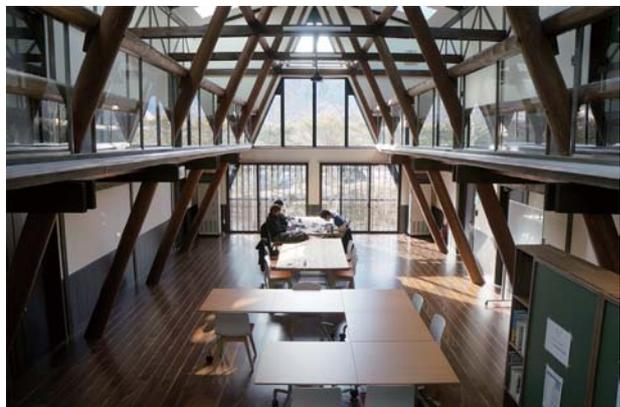
Stay Smile こんにちは。『地域おこし協力隊』です!

シェアオフィス/コワーキングスペース、「富士見 森のオフィス」で地域おこし協力隊として働いている渡辺 葉です。



富士見 森のオフィスのシェアオフィスは満室となっておりますが、コワーキングスペースをご利用頂ける会員を募集中です。さて、コワーキングスペースと聞いても良く分からない、と思われる方も多いのではないのでしょうか。簡単に言うと、「パソコンひとつあれば仕事ができる共同作業スペース」です。少し前までは所属している企業のオフィスで決まった時間に仕事をするのがほとんどだったかと思いますが、ネット環境の普及に伴い自宅やカフェでも仕事ができる人が増えてきました。ただ、自宅ではひとりでもりつきりになってしまうし、カフェだとネットが遅く仕事をする為の空間ではない、ということで「コワーキング・スペース」という複数の個人でオフィス環境を共有する新しいスペースの使い方が2005年頃からアメリカ・イギリスを中心に広がりはじめ、今では日本を含む世界中の都心はもちろんのこと、地方でも見かけるようになりました。

コワーキング (coworking) の“co”は、「共同」という意味を持ちます。色々な人とスペースを共有し、自由にアイデアや情報を交換することで仕事上の相乗効果をはかるコワーキングスペースの価値を決めるのは、コミュニケーションの生まれやすい「場」を作る運営側の工夫でももちろんあるのですが、一番はそこに集まる「人」かもしれません。まだまだ始まったばかりの富士見 森のオフィスでも、少しずつですが面白い人達が集まってきています。富士見町の皆さんにもこのコミュニティの一員になって頂けることが、当コワーキングスペースにとってとても大切なことだと思います。ぜひ一度どんなものなのか、見学がてら遊びにいらして頂けると嬉しいです。



Stay Smile 本と遊び、本に学ぶ 富士見町子ども読書活動推進委員会 事務局 ☎62-7930

富士見町子ども読書活動推進計画(第2次)

富士見町では、毎月第3日曜日にご家庭で読書に触れてほしいと活動しています。今回は学校図書館指導員の活動をご紹介します。

町では平成13年度から町内の小学校・中学校へ学校図書館指導員を置いています。授業、休み時間など、いつでも図書室へ立ち寄ることができるという、ひらかれた図書室を実現しています。

今年度の取り組み

【学校図書室の運営】

- 書籍の購入や、図書の登録・整理・整頓、システムで蔵書の管理など行っています。
- 「読書センター」として教師、読書ボランティアや保護者の読み聞かせを通し、様々な図書を紹介することで、読書の楽しさを伝えています。
- 「情報センター」として各学年でつけるべき力を明確にし、資料の探し方・集め方・選び方・記録の取り方・比較検討・情報のまとめ方等を学ばせるための計画を、図書館教育の担当が主導で立案し、運営しています。
- 図書活用が成される単位では、図書の学級貸し出しができるよう準備しています。
- 教師に図書館教育を理解してもらうための職員研修を設け、積極的に図書館を活用してもらうようにしています。
- 学校の図書館教育の担当者会を設け、情報交換をしながら進めています。

【図書館事業への協力】

- 通年 おはなし会・図書館まつりなどの行事へ不定期で参加
- 8月 夜のこわーいお話し会・・・毎年恐怖のおはなしを皆さんへ紹介しています。

※次回は家庭読書の日の活動についてご紹介をします。



▲おはなし会の様子

◆平井 善貴さん (立沢)

2013年4月に東京より富士見町へ移住し、2年間の研修を経て、昨年4月に就農しました。主にブロッコリーを栽培しています。

1年目のシーズンは虫や病気にやられたり、収穫が遅れてしまったり、機械に苦戦したり、天気にも悩まされたりと、悪戦苦闘の日々でした。設けた目標にはやや届きませんでしたが、それでもある程度の量を出荷できたことに安堵したのは記憶に新しいです。

私が無事に作物を出荷するに至るまでには町をはじめ、多くの方の支援のおかげです。感謝の気持ちを忘れることはありません。また、家族の支えもとても大きく、家族なくして就農への第一歩はありませんでした。

富士見町で就農する大きなきっかけは、妻がエコラインから見る町の景色に感動したことが決意のひとつです。

今後農地を拡大し、人の雇用も考えていますが、私のように東京などから人を雇用し、美しい景色の中、仕事ができる喜びを感じてほしいと思います。

2年目となる今年はブロッコリー以外の作物の栽培も計画しています。常に新しいことへチャレンジし、仕事の幅を広げていきたいです。また、近く家族が増える予定です。より一層努力し、富士見町の農業の為に頑張りたいと思いますので、これらかもよろしく願います。



Stay Smile 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ~子どもの場所から~

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

子どもに感動する

3月、学校や保育園、幼稚園では卒業式、卒園式が行われました。この頃はパソコンを使えば簡単に写真や動画を編集できるようになり、子どもたちの新たな一步を祝う場面で写真スライドショーを見るという機会が多くなってきました。学校では普段から学校生活の中の子どもの姿をカメラに収め、スライドショーにまとめ保護者へ贈ってください先生も増えています。野外保育森のいえ“ぼっち”でも、卒園児が生まれた時の写真を保護者に戴き、園生活の様子とともにスライドショーにまとめ、卒園式のあと、子どもたちや保護者と鑑賞しました。また、中学校の卒業生のスライドショーを鑑賞する機会もありました。そこには、カメラを意識していない子どもたちのありのままの笑顔、興味の対象を見つめる視線、先生の話に集中している表情、部活で無心にボールを追いかける姿がありました。映し出される子どもが自分の子どもでなくても、知っている子どもでなくても、純粋な子どもらしさに触れ感動し自然に涙が流れました。皆様も同様の体験をされていることでしょう。

大人は、仕事や家事など日常生活を営むのに忙しく、長々と感動に浸ってはいられませんが、それでも、子どもの成長や内に秘めたその子らしさを垣間見る瞬間瞬間をきちんと心にとめたいと思います。親も子育ての慌ただしい毎日の中に、ときどきでも親にしかできない子育ての感動を意識したり、地域の中で親だけではできないような感動を味わう機会があれば、また子育てを支える地域が親ではできないような方法で子どもに感動する機会をつくってあげれば、子育ての悩み多き毎日は感動につながり、親が親として成長していける糧になるのではないかなと思います。

